

<第2次総合計画進行管理表>

施策評価表

作成日 令和05年06月22日(木)

1. 基本事項

施策		就労環境の整備		期間	令和5年～令和9年	施策担当部課名	産業振興部 商工振興課
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	目的・対象	市内勤労者の労働環境の維持・向上を目指す。		
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり				
	小項目	3	就労環境の整備				
	主要プロジェクト						
重要度・満足度	本施策は重要度が高く満足度が低い。求職者の雇用情勢は好転しているが、性別問題、年代問題等、個別の分野にある問題点が満足度を下げる要因となっている可能性がある。			施策推進のための主な取組	意欲ある人が働くことができる環境を整える。安心して働くことができる環境づくりを支援する。		
施策を取り巻く社会状況等	人口減少社会を迎え、企業を支える労働者の減少が危惧され、国においては女性や高齢者の就労機会の確保に向けた施策を展開している。また就労先で離職しないよう定着に向けた取り組みが進められている。						

2. 評価指標

上段は目標値（令和4年度は前期基本計画に基づく目標値、令和5年度以降は後期基本計画に基づく目標値）、下段は実績値

区分	指標名（上段） 算出式・説明（下段）	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
			有効求人倍率	倍	1.38	1.02	1.11	1.20
	熊谷公共職業安定所管内 有効求人数/有効求職者数		1.35					
成果指標	仕事と生活のバランスがとれている市民の割合	%	68.70	74.60	76.20	77.80	79.40	81.00
	深谷市民まちづくりアンケート		69.00					

3. 一次評価（今後の施策の方向性）

区分	現状維持	1. 現状維持	2. 拡充	3. 縮小
<p>有効求人倍率は令和2年度以降上昇している。また、令和4年度の各月の数値も、前年同月より上昇している。これに対し、仕事と生活のバランスが取れている市民の割合は、令和元年度以降下降している。よって、この割合が向上するよう、ワークライフバランスなど、社会ニーズを把握し、国や県と共同してセミナーや相談会を開催し、雇用の創出、就労環境の改善に努める。</p>				
			評価者	商工振興課長 岩田 展雄

4. 改善改革プラン（3. 一次評価を受けての具体的な解決策）

区分	具体的な対応策等
<input type="checkbox"/> 既存事業の拡充	就労環境に関する国や県の動向を注視し、今後も国や県と連携・協力してセミナー、相談会などの事業を実施する。
<input type="checkbox"/> 事業の新規立案	
<input type="checkbox"/> 事業の廃止・縮小	
<input type="checkbox"/> 事務事業の再編	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	

5. 二次評価（所属長の見解）

<p>就労及び労働環境の整備については、国の機関であるふるさとハローワークと、埼玉県と共同で運営するセカンドキャリアセンターと、それぞれ連携・協力して事業を実施した。中小企業の従業員や事業主の支援については、熊谷市・深谷市・寄居町とで共同設置しているワークメイト大里の事業を通じて行った。今後も、国や県と連携・協力して事業を実施する。</p>	
所属長	産業振興部長 三浦 聖樹